

令和元年度 明石市議会総務常任委員会 議会報告会実施報告書

開催日時	令和2年1月27日(月)午後6時2分～午後7時4分
開催場所	明石商工会議所6階会議室
テーマ	SDGsについて
出席議員	委員長 林健太
	司会者 林丸美
	記録者 松井久美子、辻本達也
	その他 丸谷聡子、石井宏法、筒泉寿一、穂原成人(以上、総務常任委員) 出雲晶三、吉田秀夫(以上、議会活性化委員)
参加人数	NPO法人再生可能エネルギーあかし 1名 明石商工会議所 2名 明石商店街連合会 2名 一般社団法人明石青年会議所 2名 明石市ため池協議会連絡会 4名 (計11名)
報告内容	<p>○SDGsについて(石井宏法委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs = 「持続可能な開発目標」の正式名称は「我々の世界を変革する持続可能な開発のために2030アジェンダ」である。2015年9月の国連総会にて全会一致で採択された。 ・ 途上国から先進国まで全世界全地域の共通目標として「産・学・官・民」全セクター市民一人ひとりが主役として位置づけられており、誰一人取り残さない社会の実現を目指すもの。 ・ 「経済・社会・環境」それぞれ3側面をどれも取り残さずに目標を達成していくことが重要とされ、17ゴール(目標)が設定されている。 ・ 取り組みの進め方として「イノベーションとスリム化」、「包括性とパートナーシップ」、「バックキャストिंग」が重要とされている。 <p>○これまでの取り組みについて(筒泉寿一委員)</p> <p>【静岡市行政視察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 静岡市は、アジア初の「SDGsハブ都市」として、その取り組みを国内外に広く発信している。 ・ SDGsの市民への理解を広げるため、2019年のSDGsウィークには、「東京ガールズコレクション」の地方創生プロジェクトの一つとして「SDGs COLLECTION supported by TGC しずおか2019」を開催し、若年層がSDGsに関心を持つきっかけとなるようなイベントを行った。 <p>その他、さまざまな取り組みを通じて、SDGsに対する市民の認知度を50%とすることを目標にしている。</p> <p>【議員研修の一環としてSDGs議会カフェを開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SDGsについて理解を深める議員研修に高校生の参加者を募集、SDGsのカードゲームを一緒に体験し、意見交換を実施した。

	<p>【市政施行100周年記念事業として高校生議会を開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> SDGsの17の開発目標に関連する4つのテーマについて、事前に話し合っ て共有した問題意識と、それを実現するための方策を提言としてまとめ、 市議会本会議場で提案した。また、議案「(仮想)あかしSDGs条例」を作 成し、高校生議員による採決を行った。 <p>【次期「長期総合計画」について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 次期 長期総合計画を「(仮称)あかしSDGs推進計画(案)」とし、期間 は2021年度からの10年間となっている。 2019年度には、市民意識調査、タウンミーティング、当事者団体との意 見交換等を行った。また、市議会で「あかしSDGs推進審議会の設置条例改 正議案」を可決した。 2020年度は、パブリックコメント、あかしSDGs推進審議会からの答 申などを予定している。
<p>主な意見・提言・ と応答</p>	<p>○ 各団体の取り組み紹介及び意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> 明石市ため池協議会連絡会：ため池クリーンキャンペーンで、ため池から海 へと流れる水が豊かな栄養を含んでいることが認識されるようになり、きれ いな海ではなく「豊かな海」づくりのお手伝いをしている。最近、漁師さ んのクリーンキャンペーンへの参加が増えており、漁業関係者と農家が協力 し合えるようになっている。海苔養殖にも役立つのではないかとというこ とで、農閑期に池干しを行い、その時に泥水(池の栄養分)を海に流している。 草の土手焼きや野鳥観察会、溝の泥あげ、小学生の田植えや、かいぼりの 体験学習への協力を行っている。 SDGsの環境面に配慮した農業ということで、研修を受け、化学肥料を 減らす、水路に流す農薬を減らす等の取り組みを始めている。 明石青年会議所：明石青年会議所は、昨年からSDGsを一番推進する団体 を目指して取り組みを進めている。今年からは「使う責任」ということで 懇親会等々ではご飯を残さないなど、まずは目の前にあるものから意識し て取り組んでいくことを掲げている。 再生可能エネルギーあかし：サステイナブルエナジーを次世代につなごう、 を合言葉に活動している。 再生可能エネルギーを地産地消することは、エネルギーによる地域経済 の活性化にメリットがあると考えている。例えば、電気料金の負担軽減や 新たな雇用創出、地域経済の活性化が期待できる。 また、災害発生時に自前で電力を供給できるというメリットもある。 再生可能エネルギーの地産地消を我々だけで行うことは不可能。行政や 地元の資本、商工会議所の方々と一緒になって市民エネルギーの会社を設

立すれば前に進むことができるのではないかと考えている。

- ・林健太委員長：具体的な取り組みの例として、魚の棚など商店街でSDGs月間等の啓発イベントを行い、その期間は紙ストローを使うということになれば、豊かな海を守ろうという目標にも直接つながると思う。その取り組みをメディアなどで発信することにより、魚の棚のPRにもなり、新しい顧客を取り入れことも期待できるし、SDGsを知る機会にもつながっていくのではないか。

そのような取り組みを検討する上で、実際に活動するための助成金が必要とか、旗やのぼり、SDGsグッズをつくる助成金が必要であるなど、要望も含めて意見を聞きたい。

- ・明石市商店街連合会：明石市商店街連合会は今年70周年を迎えるが、記念行事については、これから検討するところであり、記念の冊子を作ったり記念品を配ったりすることを考えている。

例えば、ポリ袋をもっと減らしていこうと社会全体で盛り上がっている中、商店街連合会がエコバッグをつくり市民の方に配付する等の活動を通じて商店街連合会を知っていただきながら、なおかつポリ袋自体の削減につなげることができるのではないかと考えた。このような取り組みに予算を付けていただけたらありがたい。

- ・明石青年会議所：青年会議所内に青少年育成に関する委員会があるので、小学校等を訪問し、カードゲームを使ってSDGsの認知度を高める活動ができると思う。青年会議所が主となり市と協力して普及に取り組めたらと思う。

個人的には、「SDGs認定企業」のようなものがあったら面白いと考えている。中小企業がSDGsの推進に向けた取り組みを行うことによるメリットのようなものがあれば分かりやすいと思う。

- ・林健太委員長：再生可能エネルギーあかしは、他に参考にできる取り組み事例などご存知ではないか。

- ・再生可能エネルギーあかし：市民エネルギーを立ち上げようとする運用資金として、直ちに数千万単位の資金が必要となるが、それを我々NPOでは賄えないため、市のバックアップや地元企業等の協力が必要。資金集めの一つの方法として、ふるさと納税を活用できないかと考える。

また、例えば再生可能エネルギーを使っている市民には、地域で使えるポイントがつくというような仕組みも面白いのではないか。そのポイントを市

内で使うことで、地域の事業者も売り上げにつながり、地域でお金が循環する。そのような仕組みを、行政と商工会議所や市民で行うことができる一つのループができたらと考える。

・丸谷聡子副委員長：他都市で地元企業や商店街と連携した取り組み事例があると聞いている。紹介してほしい。

・再生可能エネルギーあかし：神奈川県小田原市では、ガスの小売業者とか市内のエネルギーを扱っている業者等がグループをつくって会社を立ち上げ、それを市がサポートしている。

鳥取県米子市では、ケーブルテレビ局がネットワークを使ってエネルギーを個人から買い取るなど様々な活動をしている。住宅地として開発した埋め立て地が、液状化により使えなくなったが、そこでソフトバンクが太陽光のメガ発電を行っている。一定期間行ってきたが、ソフトバンクが撤退するという話があり、それをそのまま市が引き継ごうという話があるようである。

また、ドイツにはシュタットベルケという都市公社があり、水道・ガス・交通網など様々なインフラをこれまでは民間に委ねていたが、公がその責任を負う取り組みが進められている。

明石でも大きなことはできなくても個々の段階でこのような先進事例を活かした取り組みができるのではないか。ぜひ、検討の中に加えていただきたい。

・明石市ため池協議会連絡会：再生可能エネルギーがSDGsにどう影響しているか分からないが、環境負荷を減らすというのは大変良いと思う。

これまで、ため池で太陽光発電を行い、それを自分たちの地域で使うことができないか勉強してきた。ため池での太陽光発電を各地で事業として行っているが、採算が合うところと合わないところがあるようであり、事業としては非常に難しい。

5～6年ほど前、太陽光発電を企業が試験的に使わせてほしいと言ってきたことがある。

明石市のため池は、市が管理していて許可が必要になるため、市の管財課と業者と地元が打ち合わせをし、環境部にも影響を調査してもらったところ、その反射光が民家に当たるためできないということであった。また、そのような中でも、付近に民家がないため池であれば設置ができるのではないかと検討したが、絶滅危惧種の水生动植物がたくさんあるため、いずれの場所でもできないという結論に至った経緯がある。

・明石商工会議所：SDGsが注目されるようになってきたが、まだまだ商工

	<p>会議所の会員や中小企業関係者には認識されていない。名称ぐらいなら聞いていると思うが、まずは、知っていただくことが大切だと思う。</p> <p>経済、環境、福祉など生きる事の全てがつながっていることなので、理解しやすいと思うが、自分がどのように向き合えばよいか、どのように取り組んだら良いのかというところが課題であると思う。</p> <p>環境のテーマで言うなら、労働者の働く環境を改善するための緑化面積の緩和にご協力いただきたい。</p> <p>・松井委員：明石市は、気候非常事態宣言を行う予定である。異常気象に対する取り組みについて、私たちができること、市民としてできること、行政としてできること、企業としてできること等々と取り組んでいきたいと思っている。それぞれの立場はあるが、昨今の異常気象を見ればもっと真剣に取り組みを進めるべきと考える。</p> <p>プラスチックごみのことや、青年会議所から発言があった食品ロスなど、自分たちでできることをきっちりと処理していくとか、様々な角度で取り組みを進めるべきだと考える。</p>
--	--

明石市議会議長 大西 洋紀 様
令和2年2月20日
上記のとおり報告します。

総務常任委員長 林 健 太